

申請事業計画書（活性化事業補助金）

事業名	リサイクル啓発強化事業	←予算書と同じ事業名、団体名を記入 ↓予算書と同額を記入	活性化事業の 既交付回数	1
団体名	〇〇リサイクル			
事業費総額	520,000円	補助申請総額	400,000円	

①解決あるいは改善したい地域課題

環境保全を推進する中で、リサイクルによる資源の有効活用、ごみの減量を進めることは重要であり、その中でも古着のリサイクルも本来大きな比重を占めるものである。
 しかしながら、全国的には古紙・ビン・缶のリサイクル率は6割から9割であるのに対し、古着のリサイクル率は1割強である。浦安市におけるデータでもほぼ同じ割合であり、また、その率も高まっていない。
 このようなことから、古着リサイクルの市民の取り組みをより一層促進し、ごみ減量に繋げるため、広報活動や定期回収場所の増加を行う。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。
 ○ 解決又は改善したい地域課題 ○ 課題に関する市民ニーズの状況

②事業の概要 ※3行程度で簡潔に書いてください。

上記①に示された課題の解決あるいは改善に向けてどのような事業を行いますか。
 古着リサイクルの意義をより広く市民に知らせ、関心を喚起し、古着回収への参加を促すための広報事業。古着回収に協力する市民は少なくないが、いまだに古着のほとんどは燃えるごみとして捨てられている。この状況を改善するため、より積極的な広報活動を展開させる。

③事業の内容

○対象：市民（特にリサイクルやごみ減量に関心は持っているが、今まで古着回収に参加していない市民）
 ○内容： 前回の事業で行った意識調査の結果をもとに、リーフレットの作成・配布を行い、活動への認知度を高め、回収量の増加に結び付けていく。そのために下記の活動を行う。
 ・講習会等を開催したり、地域イベント出展の際、参加者に対して積極的に広報活動を行う
 ・定期回収場所の増加
 ・また、それらをより強化し、着実なものにするために以下のような活動を実施する
 【調査活動】
 ・回収時に古着を持ち込む市民に対しての聞き取り調査
 ・開催する講習会やイベントの参加者に対しての古着回収アンケート調査の実施
 【広報媒体～特に紙媒体の充実】
 ・活動をよく理解してもらえるようなリーフレットと回収案内チラシの作成
 ・チラシ設置場所：公民館、自治会、学校、個人商店へのリーフレット・チラシ設置
 ○担い手：新規ボランティアスタッフ募集チラシの作成。
 団体メンバー15名からプロジェクトチームを作り、担い手養成講座を開催する。（年2回）
 ○連携：NPO法人〇〇〇
 ○自主財源の確保：企業向け出前講習会の実施、寄附の協力依頼

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。
 ○ 目的、いつ、どこで、だれが、だれを対象に、何を、どのように

※複数回目の申請の場合、以下の事項を記入してください。
 前回の事業の課題を受けての改善点や工夫点などさらなる活性化の視点を記入してください。

・定期回収場所を増やす
 前回の事業で行った意識調査の結果より、定期回収場所を増やしてほしいという声が多かったことから、市内のお店に開店前の時間帯、駐車場の一部を定期回収場所とさせてもらえないか交渉する。また、定期回収場所を増やすことにより、新規ボランティアスタッフの確保も必要になってくることから、リーフレットやチラシを活用して、新規ボランティアスタッフの募集を行う。
 ・自主財源の確保
 前回の事業で行った、企業向け出前講習会が好評であったことから、今年度も実施したいと考えている。また、協力企業から、協賛金をいただけるよう、連携の強化に努める。

④事業のスケジュール

③の計画内容を下のスケジュール表になるべく詳細に記入してください。

なお、下表の『場所や人数など』欄に参加予定人数やスタッフ人数を記入してください。

時期	内容	場所や人数など
4月	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取り調査、アンケート内容の検討 担い手育成のためのプロジェクトチームの結成 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館（事務局6名） 公民館（事務局15名）
5月	<ul style="list-style-type: none"> 5月定期回収 聞き取り調査の実施（定期回収時） プロジェクトチーム会議（今後の活動内容検討） 	<ul style="list-style-type: none"> 各回収拠点（スタッフ38名） 各回収拠点（スタッフ50名） 公民館（事務局15名）
6月	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット・チラシの掲載内容とデザインを検討する 地域のイベント参加 講習・イベント時、アンケート調査実施 プロジェクトチームで担い手養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館（事務局5名） 各会場（スタッフ5名/回） 各会場（スタッフ5名/回） 公民館（事務局5名・参加者10名）
7月	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット・チラシ印刷発注→受領 リーフレット・チラシ設置場所の交渉 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センター（事務局2名） 各場所（スタッフ10名）
8月	<ul style="list-style-type: none"> 8月定期回収 聞き取り調査の実施（定期回収時） 夏休み体験ボランティア受け入れ（定期回収時） 講習・イベント時、アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各回収拠点（スタッフ38名） 各回収拠点（スタッフ50名） 各回収拠点（スタッフ50名） 各会場（スタッフ5名/回）
9月	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント参加 講習・イベント時、アンケート調査実施 半年間の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 各会場（スタッフ5名/回） 各会場（スタッフ5名/回） 公民館（事務局10名・スタッフ30名）
10月	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人〇〇との連携に向けて事前打ち合わせ 地域のイベント参加 講習・イベント時、アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館（事務局5名・NPO5名） スタッフ（5名/回） 各会場（スタッフ5名/回）
11月	<ul style="list-style-type: none"> 11月定期回収 聞き取り調査の実施（定期回収時） 	<ul style="list-style-type: none"> 各回収拠点（スタッフ38名） 各回収拠点（スタッフ50名）
12月	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント参加 講習・イベント時、アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ（5名/回） 各会場（スタッフ5名/回）
1月	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームで担い手養成講座（NPO法人との連携） 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館（事務局5名・NPO5名・参加者20名）
2月	<ul style="list-style-type: none"> 2月定期回収 聞き取り調査の実施（定期回収時） 	<ul style="list-style-type: none"> 各回収拠点（スタッフ38名） 各回収拠点（スタッフ50名）
3月	活動のまとめと振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 公民館（事務局10名・スタッフ30名）

⑤事業の効果

この事業を行うことにより、地域課題の解決又は改善に向けてどのように進むと考えますか。

広報活動を強化することや定期回収場所を増やすことによって、市民が「古着はリサイクルするもの」という意識が醸成され、古着の回収率は上がり、市全体のごみの量が減ると考えている。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。

- ②に記入した地域課題に対して、この事業がどのような効果があるのか

⑥団体が自立した運営を継続していくため、この事業を行うことで、どのような効果を得ることができそうですか。

(下記項目にチェックしてください。) ※複数チェックした場合、一項目ずつ記入してください。

- 自主財源の確保 担い手の確保 担い手の育成 認知度の向上
 他団体との連携強化 まちづくり活動補助金事業への移行 その他

(上記チェックの内容について、具体的に記載してください。)

- ・ 前回の事業で行って好評だった企業向け出前講習会を今年度は複数の企業で開催したいと考えている。講座の講師料や新規ボランティアスタッフ加入による会費増が見込める。
- ・ 定期回収場所を増やすことにより、スタッフの確保が必要になることから、ボランティアスタッフ募集チラシを作成し、公民館、自治会、学校、個人商店へ配布することで、担い手の確保につなげる。
- ・ 新規ボランティアスタッフのために、担い手養成講座を開催し、担い手の育成を図る。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。

- 団体の将来像など、今後、どのような運営体制になるか

⑦次年度以降、この事業をどのように自立・継続・発展させていきますか。

(下記項目にチェックしてください。)

- 自立予定 (自主財源で継続) 市民活動補助金を再度申請予定
 他の制度を使用して継続予定 実施年度で終了予定 その他

(上記チェックの内容について、具体的に記載してください。)

定期回収場所を増やすことによるスタッフの増員や、新規ボランティアスタッフのための担い手養成講座を開催することにより、会員〇名の増員ならびに会費増が見込まれることから、来年度は自主財源のみで運営できるような基盤ができると考える。

下記の点を明確かつ簡潔に記入してください。

- 申請する事業の今後の方向性